

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	3078	(H.26)No.	3078
-----------	------	-----------	------

事務事業名	青少年健全育成事業補助金		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	西山 正彦	

会計区分	事業コード	508505
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	教育費	青少年健全育成事業
項	社会教育費	(小事業名)
目	青少年対策費	青少年健全育成事業補助金

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐむ教育の充実
	施策	2	青少年健全育成
	小施策	2	健全な環境づくり
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
市民との協働により効果的な青少年健全育成活動を実施します。
事業内容
青少年育成市民会議を中心に、市民会議を構成する諸団体と連携して事業を推進するために、事業補助を行います。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	青少年育成市民会議を中心に、市民会議を構成する諸団体と連携して事業を推進するために、事業補助を行います。		
主な事業の実績・計画	青少年育成市民会議の青少年健全育成事業に対し、事業補助金を支出 ・中学生のメッセージ ・有害環境一掃大作戦 ・なんでも体験団 ・夜間合同パトロール ・ジュニアリーダー養成講座 ・サポートふれあい隊 等青少年健全育成事業を実施。	青少年育成市民会議の青少年健全育成事業に対し、事業補助金を支出	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
			青少年育成市民会議の青少年健全育成事業に対し、事業補助金を支出	青少年育成市民会議の青少年健全育成事業に対し、事業補助金を支出	青少年育成市民会議の青少年健全育成事業に対し、事業補助金を支出

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	228千円	228千円	228千円	228千円	228千円
内訳(千円)	国・県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 228	228	228	228	228
人工数	職員	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
	臨時職員等				
②概算人件費	(0千円) 525千円	525千円	525千円	525千円	0千円
①+②総事業費	(0千円) 753千円	753千円	753千円	753千円	228千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが必要な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
住民視点で行われる様々な活動に補助を行うことにより、地域の多様な人材を活用し、市民、地域みんなで子育てに取り組む活動への支援を行うことができました。	事業内容により公益団体等の助成金(補助金)の活用について助言するなど、さらなる活動の充実と団体の活性化を進めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	家庭の教育力が低下する中、様々な子どもへの体験活動の提供や、安全パトロール等の活動は、地域の子育て力を高め、安心安全のまちづくりに寄与し、青少年の健全育成に大きく貢献しています。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	青少年育成市民会議を構成する30団体のほとんどは、民間団体、市民の自発的活動組織です。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由 青少年育成市民会議は昭和54年に発足、平成11年にふれあい隊のパトロール活動を開始し、近年では総務、青少年活動推進、非行防止環境浄化の3部会の活動も活発に実践されるなど、青少年健全育成活動の実績を持つ団体です。一層、活発に事業が展開できるよう補助を行います。	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 ・名張市子ども教育ビジョン ・名張市次世代育成支援行動計画
---	--